

## 第5学年 ESD（総合的な学習の時間）学習指導案

日 時：平成29年11月10日（金）5校時

場所：多目的ホール 授業者：第5学年担任 福本 拓人（T1）

第6学年担任 富田優美子（T2）

### 1 単元名 「私達の生活と環境Ⅱ 白方のお米を世界に広げようプロジェクト」

#### 2 児童の実態

本学級は、米作りや野菜作りを行っている家庭が多く、農作物をととても身近に感じている児童が多い。前単元では、日本のおいしいお米を世界にアピールしたいという児童の思いから、衣装ケースでの米作りや米についての調べ学習を通して、「米と環境」についてのつながりを学んできた。また、昨年度にアメリカと交流していた6年生の「ビデオレター発表会」に参加した児童が多く、外国の方と交流してみたいという意欲の高い児童が多い。そのため、日本と同様に米が主食であるネパールと交流することをとても楽しみにしている。さらに、2学期には、フードマイレージや食料自給率の調べ学習、家庭科での調理実習を経験したことで、学習の成果を世界に発信したいという意欲がさらに高まってきている。しかし、発表をしたり友達の発表を聞いたりすることが好きな児童が多いものの、調べたことや自分で考えたことを工夫してまとめたり、分かりやすく発表したりする技能が十分に身に付いている児童は少ない。

#### 3 ESDの視点に立った学習指導について

##### (1) 教材について

本単元は、これまでの学習を基にしてビデオレターの作成を行うことで自分達の調べたことを分かりやすく表現し、発信する力を身に付けること、さらには外国との交流を通してお互いの文化を理解・尊重し合うことができるようにすることをねらいとしている。外国語活動と関連付けて学習を進めたり、ジェスチャーや写真・動画等を用いて自分の思いを伝えようとしたりすることで表現力を高めることもできる教材である。これまで児童は、米についての調べ学習を行い、ポスターセッションや祖父母参観での発表を経験してきた。そして、本単元では、日本と同様に米を主食としているネパールへ向けてビデオレターを作成するために、学級やグループで協力しながら分かりやすい表現方法を考えさせることができる教材である。白方のお米を世界へ広げようという子ども達の思い（ビジョン）を基に、ビデオレターを作成して交流することをゴールととらえている。できればYouTube等の動画サイトにもアップしたい。

##### (2) 持続可能な社会づくりとの関連

世界にはたくさんの環境問題があり、それらは食と密接につながっているものが多い。本学級の児童は、食や環境の問題について考え、フードマイレージや食料自給率についても調べてきた。これらの問題を解決するために、世界の人々と協力し、よりよい未来を築くために協力して生活する必要があることに気付かせたい。これは、「持続可能な社会づくりの構成概念」のうち、「Ⅲ相互性、Ⅴ連携性」にあたる。また、本単元では、ビデオレターの作成を通して自主的・計画的に学習を進める力を身に付けさせるとともに、これまでに学習したことを表現させ、お互いの文化について理解・尊重をさせたい。これは、「Ⅰ多様性」にあたる。現在の日本は、どんどんグローバル化が進んでおり、今後外国の方と接する機会が増えていくことが予想される。そこで、外国人と積極的にコミュニケーションをとり、異文化を尊重して互いの考えを理解し合うことが重要となる。相手意識を持って自分の考えを積極的に伝えることや、進んでコミュニケーションをとり、よりよい未来のために自分からアクションを起こすことの大切さにも気付かせたい。これは、「Ⅵ責任性」にあたる。これらの構成概念を考慮し、学習を進める中で、今後、どのような生き方をしていけば良いかという持続可能な社会の視点を育てていきたい。

##### (3) 本単元の学習指導で重視する能力・態度の内容とその指導

＜多様な観点から考え、見通しを持ってよりよい解決策を考える力＞

ビデオレターで「何を・どのように」伝えるのかを考え、撮影計画を立てて取り組むとともに、写真や映像、言葉を組み合わせてより分かりやすく伝えようとする力

＜気持ちや考えを交流させ、協力して取り組む態度＞

ビデオレターの作成や読み解きにおいて、友達と考えを交流し、自分の考えを深めるとともに協力してビデオレターを作成しようとする態度

＜さまざまな人や社会、自然などとのつながりを尊重する態度＞

外国との関わりに関心を持ち、自国の文化を大切にするとともに、外国の文化を尊重しようとする態度

＜よりよい未来をめざし、その実現に向けて主体的・計画的に取り組む態度＞

ビデオレター撮影に計画的に取り組み、自分達の考えを表現し進んで外国とコミュニケーションを取ろうとする態度

これらの能力・態度を育てるために、本単元では次のような点に留意して指導を進める。

- ① 作成した絵コンテやビデオレターをお互いに見合い、話し合う時間を十分に確保し、ネパールに自信を持って自分達のメッセージを伝えることができるようにさせる。
- ② ビデオレターのメッセージを大切に撮影計画を立てることで、見通しを持ってビデオレターを作成することができるようにさせる。また、グループごとの映像のつながりにも目を向けさせることで、1つのストーリーとしてビデオレターを作成させる。
- ③ 社会科「わたしたちの生活と食料生産」、家庭科「食べて元気！ご飯とみそ汁」、総合的な学習の時間「ブナ林に行こう」と関連させて学習を進めることで、「食と環境」の関係について常に考えながら学習させる。
- ④ 相手意識を大切にし、外国語活動で学習した表現やALTを活用してビデオレターを作成させる。

#### 4 単元の目標

ビデオレターでの作成を通して、自分達の学んだことや考えたことを分かりやすく表現することができるようにするとともに、異文化を尊重し、進んで外国と関わろうとする態度を身に付けることができる。

#### 5 指導計画と評価規準（本時14/20）

段階	主な学習活動 (時数)	多様な観点と見通し (学習方法)	交流と協力 (他者や社会)	つながり (他者や社会)	主体的・計画的 (自分自身)
課題の設定	<ネパールについて調べよう> (3) ・ ネパールについてのイメージマップを描く ・ ネパールについて調べたことを発表し合う。	日本とネパールとの違いに着目し、たくさんの視点からイメージマップを描いたり調べたりすることができる。	友達の考えを聞きながらネパールについてのイメージマップを描いたり、発表を聞いたりすることができる。	外国とのつながりを大切にし、ネパールの文化や習慣について理解することができる。	自分がどんなビデオレターを作りたいのかについて、具体的なイメージを持って調べ学習や発表に取り組むことができる。
情報の収集	<伝える内容を決めよう> (5) ・ ビデオレターで伝えたい内容を話し合い、グループ分けを行う。 ・ カメラワークについて理解する。 ・ 伝えたい内容をもとに、絵コンテを作成し、撮影計画を立てる。 ・ 絵コンテの発表会を行う。	メッセージを明確に持ち、どのような内容を撮影するのかについて考えている。 相手意識を持ち、ビデオレターがより分かりやすくなるよう考えて絵コンテを作成している。	これまでに学習してきたことや、考えたことを基に、ビデオレターでネパールに伝えたいことを話し合うことができる。	食と環境、人々とのつながりを大切にしてビデオレターの内容を決めることができる。	発信につながるよう考え、ビデオレターの絵コンテを作成したり、撮影の順序を考えて撮影計画を立てたりすることができる。
整理・分析	<ビデオレターを作成しよう> (9) ・ 絵コンテをもとにビデオレターの撮影・編集を行う。 ・ 中間発表会を行う。 <本時> ・ 反省を受け、ビデオレターを修正する。	カメラワークの違いを理解し、メッセージをより分かりやすく伝えることができるよう撮影したり、編集したりすることができる。	友達と協力しながらビデオレターの撮影・修正をすることができる。	食と環境、人々とのつながりを大切にしてビデオレターを撮影したり、編集したりすることができる。	見通しを持って、進んで役割分担をしながらビデオレターの撮影をすることができる。
まとめ・表現	<今までの活動を振り返ろう> (3) ・ 全校生の前でビデオレターの発表会を行う。 ・ ネパールから返って来たビデオレターを見る ・ ネパールについてのイメージマップを描き、これまでの活動の振り返りを行う。	作成したビデオレターの良かった点や、来年度に生かせる点を話し合い、考えをまとめることができる。 ビデオレターを見て、分析的にメッセージを読み解くことができる。	感想を交流し、協力してビデオレターを作った達成感を味わうことができる。 返信ビデオレターのメッセージを考え、友達の意見も聞きながらメッセージを読み解いている。	ビデオレターによる交流を通して、外国と協力したりコミュニケーションをとったりすることの大切さを理解することができる。	作成したビデオレターを見て、良かった点や来年度に生かせる点について、自分の考えを持つことができる。

6 ねらい

中間発表会を行って自分達の作ったビデオレターについて説明するとともに、6年生や参観者から意見をもらいながら、ビデオレターのメッセージをより分かりやすくするにはどうすればよいかについて考えることができる。

7 指導過程 (本時)

段階	学習内容・活動	時間	指導上の留意点 * ESDの視点に立った留意点
導入	1 本時のめあてをつかむ。 (1) ネパールの写真や映像を見る。	3	○ 指導上の留意点 * ESDの視点に立った留意点 ・ 評価 <ESDで重視する能力・態度>
展開	<p>☉ 中間発表会を行い、メッセージをより分かりやすくするにはどうすればよいか考えよう。</p> <p>(2) 中間発表会の進め方を確認する。</p>	34	<p>○ 初めてビデオレターを見る人(本時は6年生や参観者)に自分達のメッセージが伝わるよう発表することを確認する。</p> <p>○ 発表する児童に、ネパールの写真を20秒程度の動画で見せることで、相手意識をきちんと持たせる。</p> <p>○ 4グループ全てが同時に映像を発表するワールドカフェ方式で進めさせる。5年生グループは、前時の続きから発表することを伝える。発表者以外の児童は訪問者となって他のグループの発表を聞き、付せんにコメントを書かせる。</p> <p>○ 6年生の訪問者も4つに分かれて各グループの映像を見させる。参観者には、必ず付せんを書いてもらうよう児童に声を掛けさせる。</p> <p>○ T2は、どの児童も付せんを書いたり、自分の考えを表現したりすることができるよう各グループを支援する。</p>
	<p>2 中間発表会を行う。</p> <p>(1) 映像を見合い、付箋に考えを書いて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「お米の育て方」</li> <li>・ 「お米の自給率」</li> <li>・ 「お米の品種」</li> <li>・ 「お米料理」</li> </ul> <p>(1グループに掛ける時間は約17分)</p> <p>(2) 隣のグループへ移動し、映像を見合い、付せんに考えを書いて話し合う。(発表者と訪問者を入れ替える)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アップやルーズを使い、伝えたいことを強調した方がよい。</li> <li>・ もっと見やすい写真があるのではないか。</li> <li>・ 字幕だけでなく、セリフを英語にした方が分かりやすい部分がある。</li> <li>・ こんなセリフにすればよいのではないか。</li> <li>・ 早口過ぎて分かりにくい部分がある。</li> <li>・ 音楽はどんな曲が合うのか。</li> <li>・ 強調したい写真はもっと長く見せたい。</li> </ul>		<p>* メッセージは何だったのかをクイズ形式で答えてもらうことで、メッセージが伝わったかどうかを確認させる。 &lt;交流と協力&gt; &lt;多様な観点と見通し&gt;</p> <p>○ クイズの答えはフリップで準備させ、付せんに意見を書く際の視点ははっきりさせる。答えを発表した後に、映像作りで迷っている点を訪問者に伝えてもう一度映像を流し、よりメッセージを分かりやすく伝えるにはどうしたらよいか訪問者と一緒に考えさせる。</p> <p>* 訪問者には、「自分が初めてビデオレターを見る人だったら、内容がきちんと分かるかどうか」という観点で映像を見させ、付せんを書かせる。また、発表者には、見てほしい観念に沿って話し合いを進めさせる。 &lt;多様な観点と見通し&gt;</p> <p>(付箋の色・赤:よかった点、黄:分からなかった点、青:改善点・アドバイス)</p> <p>* 意見を書き終わった児童から付せんを貼り、話し合いを始めさせる。 &lt;交流と協力&gt; &lt;多様な観点と見通し&gt;</p> <p>* よかった点と改善点それぞれに理由を付けて話し合わせ、分析的に映像を見ることができるようさせる。 &lt;交流と協力&gt; &lt;多様な観点と見通し&gt;</p>
終末	<p>3 自分のグループで話し合う。</p> <p>(1) 書いてもらった付せんを読み、簡単に島分けする。</p> <p>(2) 良かった点と改善点を確認する。</p>	5	<p>○ 付せんが貼ってある模造紙から、別の模造紙へ良かった点と改善点の2種類に分けさせる。</p> <p>・ 訪問者に自分達のメッセージが分かるように発表したり、説明したりすることができたか。</p>
	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>(1) 本時の反省を振り返りシートに記入し、感想を伝え合う。</p> <p>(2) 次時の学習内容を考える。</p>	3	<p>(発表・話し合い) &lt;多様な観点と見通し&gt; &lt;交流と協力&gt;</p> <p>○ 1~2名に中間発表会をした感想を発表させる。</p> <p>○ 付せんを書いてくれた人と一緒にビデオレターを作り上げるというつながりの気持ちを持たせる。</p>